

会議名	令和元年度 第1回 七尾市健康福祉審議会 高齢者福祉分科会
開催日時	令和元年7月19日(金) 午後2時00分～午後3時30分
開催場所	パトリア 3階 会議室4
出席委員	円山委員(銀)、青木委員、佐野委員、諏訪委員、野村委員、橋爪委員、飛弾委員、 蒔田委員、松浦委員、南委員、森委員、森下委員、吉田委員 計13名
欠席委員	竹本委員、室木委員 計2名
事務局	高齢者支援課：宮崎課長、守友課長補佐、裕課長補佐、春木、室矢、木村、森野 福祉課：亀山課長補佐、和田 健康推進課：高瀬課長補佐

報告・協議内容等

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会議資料確認 ・委員の出席状況(15名中13名) ・新任委員の紹介(野村委員、吉田委員)
1. 開会	
円山会長	・開会の挨拶
2. 議件	
(1) 副会長の指名について	
円山会長	副会長の指名 資料P1 <ul style="list-style-type: none"> ・要綱により「会長が指名する」となっています。 副会長は、吉田委員にお願いしたいと思います。
3. 説明・報告事項	
(1) 介護保険事業計画・老人福祉計画の事業実績報告について	
第1節 介護予防の推進	
事務局	【説明・報告事項】説明 資料P3～8
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、平成30年度は予定した計画値よりも実績値が減少傾向、参加者も少ない、また今後廃止となる流れになっている。どうしてこのような結果になったのか、説明をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が減るから事業を削減するという形ではなく、地域の皆さんが歩いて行ける、近くに集まっただいて活動してもらおう形となるよう、よりありの場の支援に力を注いで増やしていくような活動をしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査・保健指導実施率の数字は途中経過の数字ということだが、低い数字になっている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この数字は11月に確定する。 保健指導実施率についても完全に終了したわけではないので数字に変動は出る。 保健指導実施率は目標値に近い数字になると予想される。

委員	・前年より数字が下がってきているものが多くある。平成 31 年度以降も高い目標を立てている。達成できる目標なのか。可能性はあるのか。
事務局	・市としては目標の数字に向けて進めたいと考えている。目標値に達しないものであれば、なぜ達しなかったのか検証をして目標値に近づけていきたい。
委員	・がん検診・特定健診の受診勧奨の回数、参加人数の数字があるが、対象者に対する割合はどれくらいか。
事務局	・広く市民に勧奨、周知しているため、対象者の数字は把握していない。
委員	・勧奨、周知すると参加する人は限られている。本当に伝えたい人、健康に興味がない人等に対して関わっていくことが本来大事なことではないかと思う。
第2節 生活支援の充実	
事務局	【説明・報告事項】説明 資料P 9～13
委員	・移動販売車だが廃止となり、3,300 人の買い物支援できないことになった。それに対する市の対応は。
事務局	・移動販売をしている民間業者、個人事業者が七尾市内にいるため、協力を得られないか、事業が進められないかを検討している。
委員	・緊急通報装置などの設置が必要な人数の把握はしているか。高齢者の一人暮らしなどの情報や地域の中にサービスが必要な人がいるかをどれくらい把握しているか。
事務局	・一人暮らしの高齢者等については、民生委員に年度当初に実態の把握の協力をしてもらっているが、サービスが必要な高齢者は把握しきれていない。実際にサービスを必要としている人の把握は地域包括支援センターや在宅介護支援センターなどの協力を得て、実態把握を行っていきたい。
第3節 住まい・生活環境の整備	
第4節 住宅医療・介護連携の推進	
事務局	【説明・報告事項】説明 資料P 14～17
	(委員からの質問なし)
第5節 介護サービスの充実・円滑な運営	
事務局	【説明・報告事項】説明 資料P 18～25
委員	・給付費の実績、介護認定率の報告があったが、七尾市は県内の市町に比べ、どのような状況なのか。
事務局	・介護認定率は、県平均・全国平均に比べると高い現状となっている。また要介護3以上の割合は高い。

	<ul style="list-style-type: none"> 給付費は要介護3以上の割合は高く、施設の数も多いため施設サービス費の割合は高い。また、1人当たりの給付費は県内では3、4番目となっている。
第6節 認知症施策の推進	
事務局	【説明・報告事項】説明 資料P26～27
委員	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員の配置で、5人のうち地域包括支援センターで4人、市職員で1人と説明があった。この5人はどのような活動で、連携しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員は個別で地域に出向いて、認知症カフェの立ち上げ支援を行っている。また認知症の相談があれば対応するなどの活動をしている。地域包括支援センターと市で連絡を取り合い、連携して対応している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 相談・支援体制の充実・強化で、相談件数は新規の件数と説明があったが、詳細な内容を教えてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> この相談については、地域包括支援センターで受けることが多い。認知症の診断を受けた方や家族の方、専門機関に受診した方がよい方など、実人数で62名の相談を受けた。その中で新規が28名であった。その62名の相談で訪問・相談などを行った回数が延べで176件であった。
第7節 権利擁護の推進	
事務局	【説明・報告事項】説明 資料P28
(2) 平成30年度高齢者虐待防止法に基づく実績報告	
事務局	【説明・報告事項】説明 資料P29～31
	(委員からの質問なし)
(3) 令和元年度 施策の主な取り組みについて	
事務局	【説明・報告事項】説明 資料P32～34
委員	<ul style="list-style-type: none"> 先ほども質問したが、この説明・報告でも「移動販売、買物支援」という社会資源の創設とある。具体的にどのような人が対象としているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> いままでは交通の不便な地域を対象に行っていた。現在も民間業者が行っているが、利用者から自分一人のために移動販売があることに抵抗感を持つ方もいて、それが原因で利用が減っている事例もあった。 地域課題として、高齢者一人暮らしの方に対する買い物支援は必要と感じており、実際に行っている事業者やこれから参入できる事業者と協議をしている段階である。

事務局	<ul style="list-style-type: none">能登島地区、高階地区の地域づくり協議会で生活支援・介護予防等のアンケート調査を予定している。その中で買い物支援、配食に関しての項目を設ける。能登島地区では、既存の移動販売はあるが、対応できない部分を地域で支援できないか協議を進めている。そういった部分を市としてサポートしていく。また、このような仕組みを確立していきたい。
3. その他	
事務局	<ul style="list-style-type: none">令和元年度のスケジュールについて 令和2年2月に第2回の分科会を開催
4. 閉会	
吉田副会長	<ul style="list-style-type: none">閉会の挨拶